完全閉域環境で1兆パラメータAIを駆動：データセンター級ローカルAIがもたらす知財業務の構造転換

従来課題の克服：クラウドの限界からローカルAI基盤へ



秘匿性とAI性能のトレードオフを解消

クラウドAIでの漏洩リスクと、旧来の小型ローカルAIの精度不足という二項対立を破砕。



秘匿性とAI性能のトレードオフを解消
クラウドAIでの漏洩リスクと、旧来の小型ローカルAIの精度不足という二項対立を破砕。

748GB統合メモリによる1兆パラメータ推論

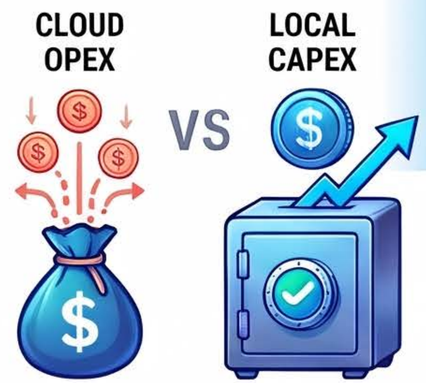
データセンター級の演算性能をデスクサイドに配置し、完全閉域網で最高峰AIを駆動。



データセンター級ローカルAIステーション

従量課金ゼロで8〜12ヶ月の投資回収





クラウド利用料（OPEX）から固定資産（CAPEX）へ転換し、限界費用ゼロの推論を実現。

知財実務における3つの構造的転換



社内極秘データによる独自LLMの学習

未公開実験データや過去の審査履歴を外部に出さず、1,000億超規模モデルを追加学習。



自律型AIエージェントによる調査・監視の自動化

24時間体制でR&Dデータと世界中の特許を照合し、発明提案書や対比表を自動生成。



知財専門職の役割が「文脈の設計者」へ移行

定型書類作成の内製化が進み、人間は独立クレーム設計や最終法務判断に特化。

Gemini Notebook